

農地法第5 条第1項の規定による許可申請書

記入例

※所有権移転の場合
→所有権()を移転()したいので、
※賃貸借権等の場合
→所有権(賃貸借権)を移転(設定)したいので、

法人の場合は会社の登記簿謄本
(履歴事項全部証明書)に記載され
ている社名・代表取締役の肩書・氏名
を記載

令和 年 月 日

株式会社〇〇〇
代表取締役 中城 花子

譲渡人 中 太郎

中
城
印

下記によって、転用のため農地(採草放牧地)の所有権()を移転()したいので、
農地法第5 条1 項の規定により、許可を申請します。

1 申請人の住所・職業及び年令	申請人	氏名			年令	職業	住所						
	譲受人	株式会社〇〇〇 代表取締役 中城 花子				建設業	中城村字〇〇1 0 0 番地						
	譲渡人	中 太郎			4 5	会社員	中城村字〇〇1 2 3 番地2						
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在				地目		面積 (㎡)	利用 状況	10 アール 当り 普通 収 穫 高	所有者以外 の使用収益権が 設定されている場合		市街化区域、市街化調整 区域の別、およびその他 参考となるべき事項	
	市町村	大字	字	地番	登記簿	現況				権利の種類	権利者の氏名 又は名称		
	中城村	当間	前原	〇〇	畑	畑	5 0 0	休耕地	なし	なし	なし	市街化調整区域	
	※地番、面積は訂正できないので注意												
	計 5 0 0 ㎡ (田 ㎡、畑 5 0 0 ㎡、採草放牧地 ㎡)												
3 転用計画	(1) 転用の目的		① 一般住宅 2 農家住宅 3 その他 (資材置場)			(2) 権利を設定し、または移転しようとする理由の詳細		・現在の住宅が借家で狭い為、住宅を建築したい。 ・事業拡大に伴い、既存の資材置き場では手狭な為。					
	(3) 事業の操業期間または施設の利用期間		〇〇 年 〇 月から 永 年間										
	(4) 転用の時期および転用の目的に係る事業または設置の概要	工事計画	第1期(着工〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月)				第2期(着工 年 月～ 年 月)			合計			申請人訂正欄
			名称	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積	
土地造成					5 0 0						5 0 0		
建築物			住宅	1	150.75				1	150.75			
	工作物												
	計		1	150.75	5 0 0				1	150.75	5 0 0	申請人印 中城	
4 権利を移転または設定しようとする契約の内容													
(1) 権利を移転し、または設定しようとする時期 許 (3) 賃借料等の給付の種類および額 年額 20万円													
(2) 対価 1,360万円、贈与等 (4) 契約期 永年間													
5 資金調達計画	総事業費 3,160万円 (自己資金500万円、借入金2,760万円、補助金〇〇〇円) 土地代も含む ※資金計画と一致させて												
6 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	排水施設を完備し、周囲の土地等に被害を与えないようにします。万が一被害を与えた場合は責任を持って対処します。 ※とよむ中城住みよい環境づくり条例												
7 その他参考となるべき事項	開発行為 都市計画法第34条第〇号(申請中)、親子関係等												
沖縄県指令農第 号													
令和 年 月 日 沖縄県知事													
上記申請については、別添の条件を附して許可します。													
【注意事項】【教示】裏面を読んでください。													
許可権者訂正欄													
字 抹 消 字 入													
申請人は記入しない													
令和 年 月 日 訂正、再交付													